



「少しでも立派な花を咲かせるために、除塩後も、土壌の分析データを参考に、慎重に施肥管理などを行っています」と話す菅井さん



昨年5月、支援してくれた人々への感謝を込め、朝市で花を無償配布した。

震災直後は……



ハウスのほか、ボイラーや農機具など数千万円した機器も破壊された



奇跡的に芽吹いた花たち

花の耐塩性は、生産者も属ほど

東日本大震災からの
復旧・復興に向けて

土砂と瓦礫の中で咲いた、復興のシンボル 多くの被災者を勇気付けた、 「津波に負けないカーネーション」

東日本大震災の津波により、宮城県名取市のカーネーション農家は、壊滅的な被害を受けました。花の株の多くが土砂や瓦礫で押しつぶされ、全滅したかに思われましたが、泥の中から新芽が出て……。今回は、大勢の被災者に希望を与えた「津波に負けないカーネーション」の復興の軌跡をたどります。

文／吉塚さおり 写真提供／名取市花卉生産組合

宮城県名取市
名取市花卉生産組合

みんなの慰めになれば……と、
採算度外視での出荷を決意

宮城県名取市は、大消費地の仙台市に隣接し、花き栽培がたいへん盛んな地域。とくにカーネーションは、一枚一枚の花弁の大きさと日持ちのよさから、「名取のカーネーション」と、当時を振り返ります。

いたといえます。

しかし、平成23年3月、東日本大震災で発生した津波により、海沿いの小塚原地区にあった園芸用ハウスの3分の1が全壊。残ったハウスにも、大量の土砂や瓦礫が流れ込みました。震災当時、組合長だった菅井俊悦さんは「ハウスにいたら瓦礫が流れ流れて……。もう、何もかも終わりだ」と思いましたと、当時を振り返ります。

咲きかいていたカーネーションは、なぎ倒され、泥に覆われて無残な姿。ところが、カーネーションのこく一部は、枯れることなく、泥の中から新しい芽を出したのです。「芽吹いた双葉を見たときは、本当にうれしかったですね。わずかですが、希望を感じました」と、菅井さん。

震災後に倒れた株から咲いた花は、色味はやや劣るものの、きれいに洗ったことで、地元の直売所で販売できました。菅井さんたちは、被災した人々の慰めになれば、と4月下旬から、東300円を出荷を始めました。

花に対する感謝の声が、
再出発の原動力に！

厳しい状況のなかで、店頭に並んだカーネーションには、大きな反響が。

「花に勇気をもいました」「復興のシンボルです」という声が続々に寄せられ、いつの間にか「津波に負けないカーネーション」という呼び名がつけました。花は被災者に癒

しや希望を与えるなど、金銭には代え難いものをもたらしました。

一時は廃業も考えたという菅井さんたちも、消費者の声に後押しされ、本格的な花き生産再開を決意します。

平成23年6月から、延べ5000人のボランティアの手を借りて、瓦礫やヘドロを除去。

9月から、東日本大震災農産生産対策交付金などを活用し、施設等の復旧を進めました。平成24年には、長谷川豊昭農学大学特任教授らに、微生物を使用した土壌改良材を提供してもらい、塩害を克服。24年度の作付けは、震災前の約92%まで回復し、「名取のカーネーション」の復活を印象付けました。

平成25年からは、フラワーマーケットメントに加工して販売するなど、6次産業化にも着手。震災前からの課題だった後継者の確保も進んでいるとか。

「これまで来られたのは、みなさんの支援のおかげです。母の日に向け、立派なカーネーションを出荷すること、感謝です」と、菅井さんは、笑顔を見せてくれました。

aff 5 May 2014
平成26年5月1日発行
(毎月1日発行)
あふ CONTENTS

- 2 東日本大震災からの
復旧・復興に向けて
宮城県名取市 名取市花卉生産組合
- 4 特集1
あふちゃんとついに学ぼう！
新しい農業・農村政策
- 14 特集2
食文化研究家・清 純の
味わいふれあい 出会い旅
第1回・東京都江東区「深川めし」
- 18 アフ・ラボ
新世代農業用機械
「アイガモロボット」ただいま、開発中！
- 20 MAFF TOPICS
○省庁から、企業、団体まで広がります！
食品ロス削減運動
○学生に人気の就業支援イベント開催
- 23 読者の声／
農林水産省フェイスブック
今月の「いいね」がいっぱい！

表紙：大井利恵の棚田（岡山県久米郡美咲町）
写真提供：美咲町産課課

広報誌「aff（あふ）」について
農林水産省や農山漁村は、食料の安定供給はもろもろのことで、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能の発揮を通じて、国民の皆さまの毎日の生活において重要な役割を担っております。また、農林水産行政は、生産などの現場に密着したものであると同時に、毎日の生活に深く関わっています。農林水産省では「aff」を通じ、農林水産業における最先端の取り組みや農山漁村の魅力、食卓や消費の現状などを紹介しております。

ホームページのご案内
「aff」は、農林水産省のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/aff/>

■編集・発行 農林水産省大臣官房総務課広報室
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL.03-3502-8111（代表）FAX.03-3502-8766
<http://www.maff.go.jp/>

■編集協力 一般社団法人光のあかほ
〒162-8448 東京都新宿区西谷船河原町11
TEL.03-3266-9045 FAX.03-3266-9046
<http://www.ienchikari.net>

メルマガのご案内
大臣メッセージや施策の紹介、イベント情報などをお届けする「農林水産省メルマガジンを毎週金曜日に発行しております。ぜひご登録ください。無料です。
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

フェイスブック・ツイッターのご案内
Facebook: <https://www.facebook.com/maff/japan>
Twitter: https://twitter.com/MAFF_JAPAN

本誌に掲載した論文などで、意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることとお断りします。



ボランティアは、販売活動も支援

